

西日本高速道路ファシリティーズ株式会社

所在地 大阪府茨木市東中条町1番6号 あいおいニッセイ同和損保・茨木ビル 従業員数 653人

事業内容 高速道路の通信設備、建築・建物施設の維持管理業務 (令和4年7月末現在)

健康経営に取り組むようになったきっかけ

西日本高速道路ファシリティーズ株式会社では、平成25年秋に健康管理室を設置しました。それまでは、健康診断結果に「要再検」や「要受診」となっているにもかかわらず、「就業上問題ない」との産業医判断があれば、その後の健康管理は社員任せでした。

しかし、社員任せでは会社の大切な財産である社員の健康を守れません。そこで、健康管理室を設置してからは、積極的に社員の健康保持・増進への取り組みを進め、社員全員が毎日生き生きと仕事ができ、ポジティブに、また自然に健康管理ができる職場づくりを目指しました。

そうした取り組みを継続的に行い、現在に至っては、健康管理を経営的視点から捉え、社員の健康維持・増進を目的とした取り組みを戦略的に実践しています。

特に力を入れた取り組みとその効果

健康診断受診率は100%を継続して達成しています。当社では、30歳以上を対象に人間ドックの受診を推奨しており、社員が人間ドックを受診しやすい環境を作ることを目的に、受診日を特別休暇とし、受診費用の補助も併せて制度化しました。(1日人間ドック利用：会社が9割負担)

人間ドックで精密な検査結果を毎年受け取ることで、その経過について社員が自身の健康状態により関心を持つこととなり、ヘルスリテラシーの向上へとつながりました。その結果、社員は精密検査や受診が必要と判定された場合、受診行動に積極的になっています。

ストレスの軽減やさまざまな悩み事の相談できる「メンタルヘルス相談窓口」も設置し(外部委託 平成29年設置)、若手社員向けにメンタルヘルス基礎知識のWeb学習などのメンタルヘルス研修も行い、こころの健康づくりにも取り組んでいます。

また、令和3年からは喫煙率を下げる取り組みとして、毎月「禁煙の日」を設けています。社内ポスター掲示や喫煙が身体に及ぼす悪影響についての定期的なメール配信を行い、一人でも多くの社員を禁煙に導ける取り組みを続けています。



「禁煙の日」の取り組み



「アンガーマネジメント」講習実施